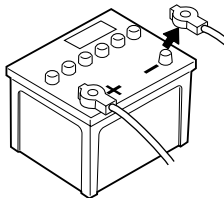


取付説明書(KV-M705)

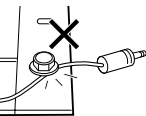
JVC

取り付ける前に

- 作業中のショート事故防止のため、必ずバッテリーの⊖端子のコードを外しておいてください。



- 車体やねじ部分、シートレール等の可動部に配線をはさみ込まないよう注意してください。
- 取り付けが困難な場合はお買上げの販売店にご相談ください。



- 安全運転のため運転の妨げにならないところに、また本機の放熱効果が十分発揮されるようなところに取り付けてください。
- 取り付け前に仮接続をして本機が正しく動作するか確認してください。
- 取り付けは必ず付属の部品(ネジなど)を指定通り使用し、しっかり固定してください。指定以外の部品を使用しますと内部の部品がこわれたり、ゆるんで外れたりすることがあります。
- ネジやナットを締めるとき、他の配線をはさみ込まないようご注意ください。

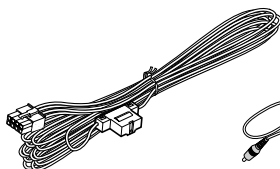
ご注意

- 本機を取り付けるときは、水平な場所を選びパーキングブレーキをかけ、エンジンキーを「OFF」にしてから行なってください。
- 本機は、DC12Vマイナスアース車専用です。大型トラックなどの24V車には使用できません。
- 配線をするときは、車両電源配線用コード以外で延長しないでください。コードの被覆が破れ、ショート・発熱により火災となったり電流容量オーバーにより火災の原因となります。

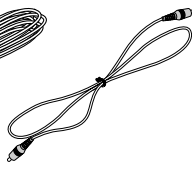
モニター本体



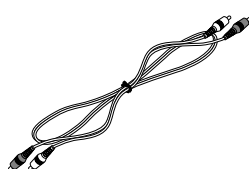
付属品の確認



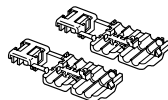
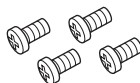
電源コード



ビデオコード(50cm)



オーディオコード(50cm)



バインドネジ(M4×3mm) 皿ネジ(M5×8mm) バインドネジ(M5×8mm) コードコネクタ

トヨタ車ワイド200mmサイズ用



ネジ(M4×6mm)



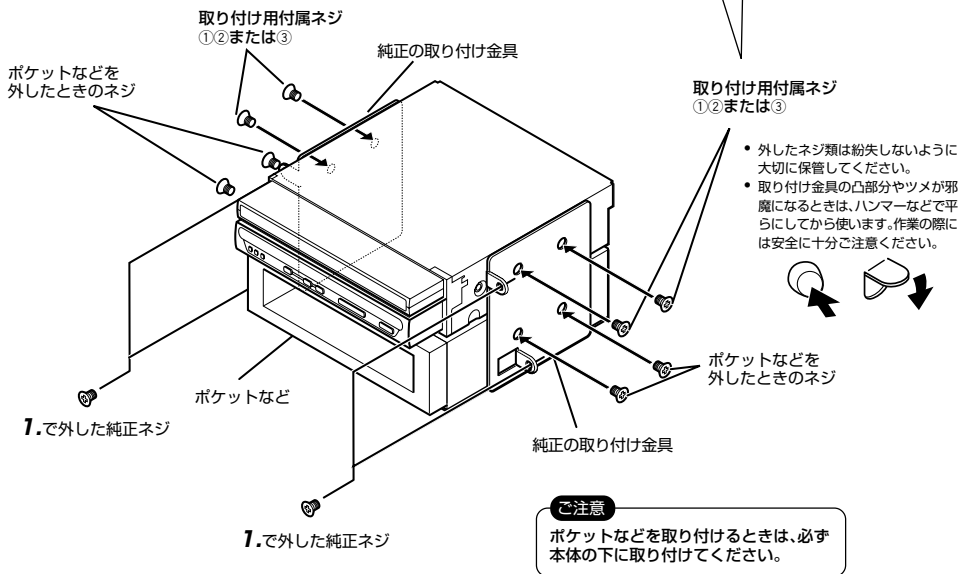
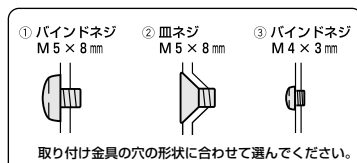
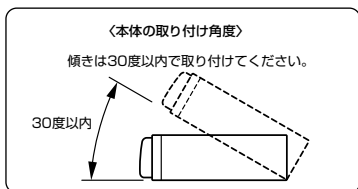
ワッシャー(φ4)

取り付け

取り付け方法

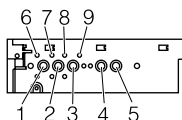
1. 純正のオーディオを外す
2. 本体に取り付け金具を取り付ける
3. 接続する(3~6ページ参照)
4. 車両に固定する

(イラストは一例です。詳しくはお買い上げの販売店にご相談ください。)



ご注意

ポケットなどを取り付けるときは、必ず本体の下に取り付けてください。

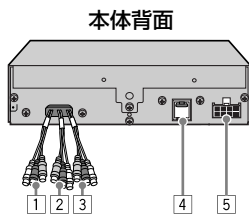


取り付け金具を取り付ける際は、次の寸法の取り付けネジを使用してください。それ以外のネジを使用すると、本体が破損する恐れがあります。

取り付け穴1~5を使用する場合: M5×8mm
取り付け穴6~9を使用する場合: M4×3mm

接続のしかた —必ずお読みください。

本機について



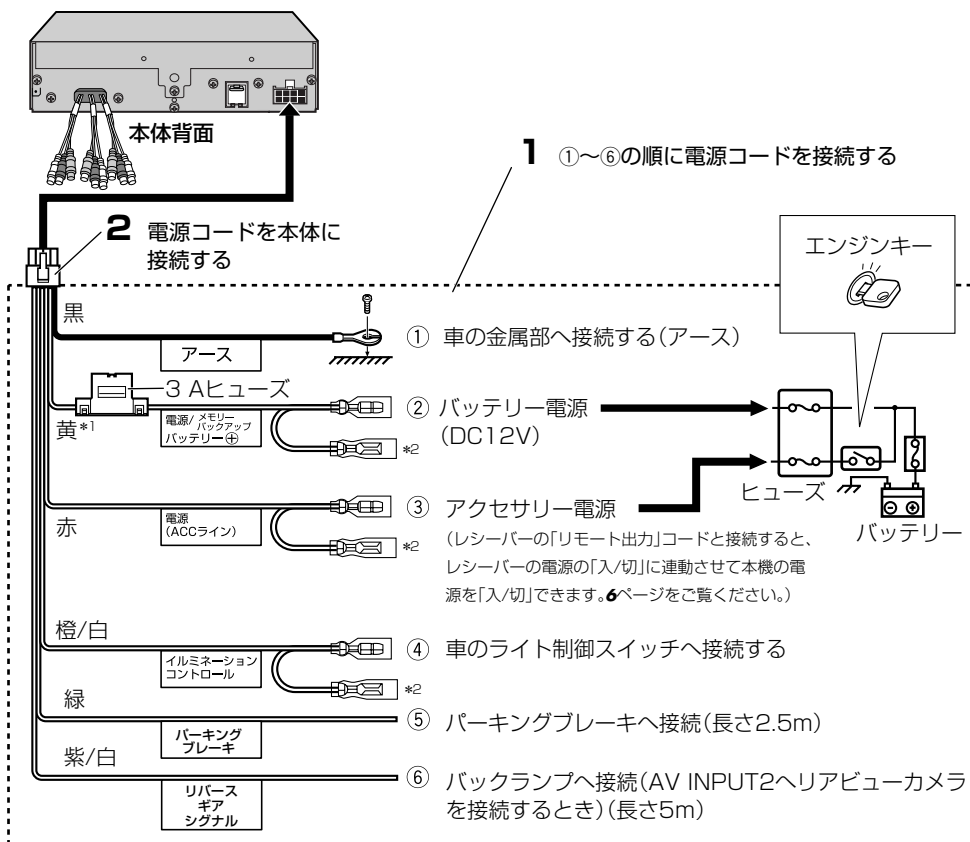
- ① AV OUTPUT端子
- ② AV INPUT2端子
- ③ AV INPUT1端子
- ④ AV BUS端子
- ⑤ 電源端子

電気系統との接続

接続の前に車の配線をよく確かめてください。誤った接続は本機の故障の原因となります。

作業中のショート事故防止のため、取り付けの前に必ずバッテリーの⊖端子のコードを外しておいてください。

取り付けが終わったら各機器で、リセットの操作をしてからお使いください。



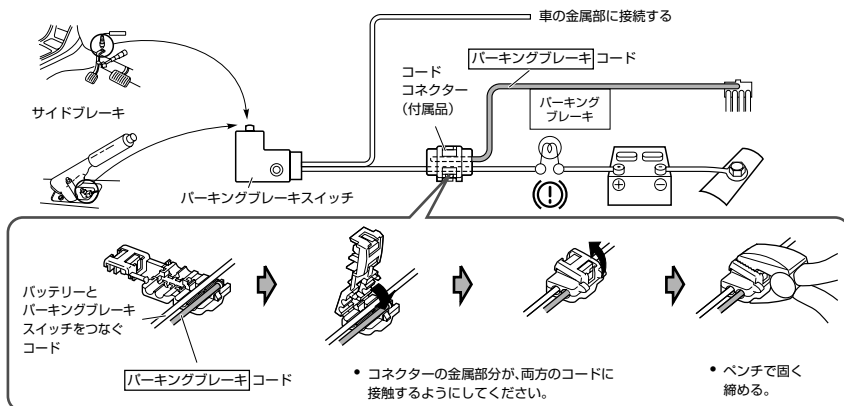
*1 取り付ける前に動作を確認するときは、電源コードを接続してください。電源コードを接続しないと電源が入りません。

*2 本機を他の機器と接続する場合に使用します。

接続のしかた(つづき)

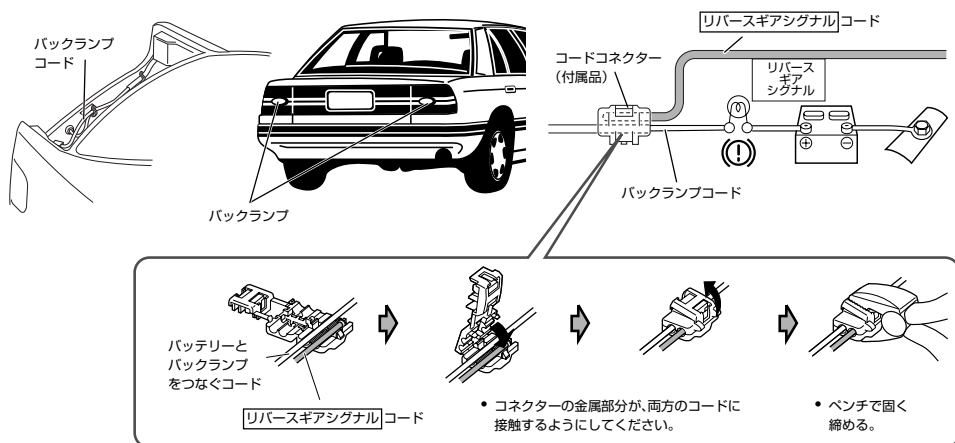
サイドブレーキとの接続

- 交通安全のため、必ず「**パーキングブレーキ**」コードをパーキングブレーキスイッチに接続してお使いください。



リアビューカメラを接続する場合

- AV INPUT 2へリアビューカメラを接続しているときは、「**リバースギアシグナル**」コードを車両のバックランプコードに接続してください。

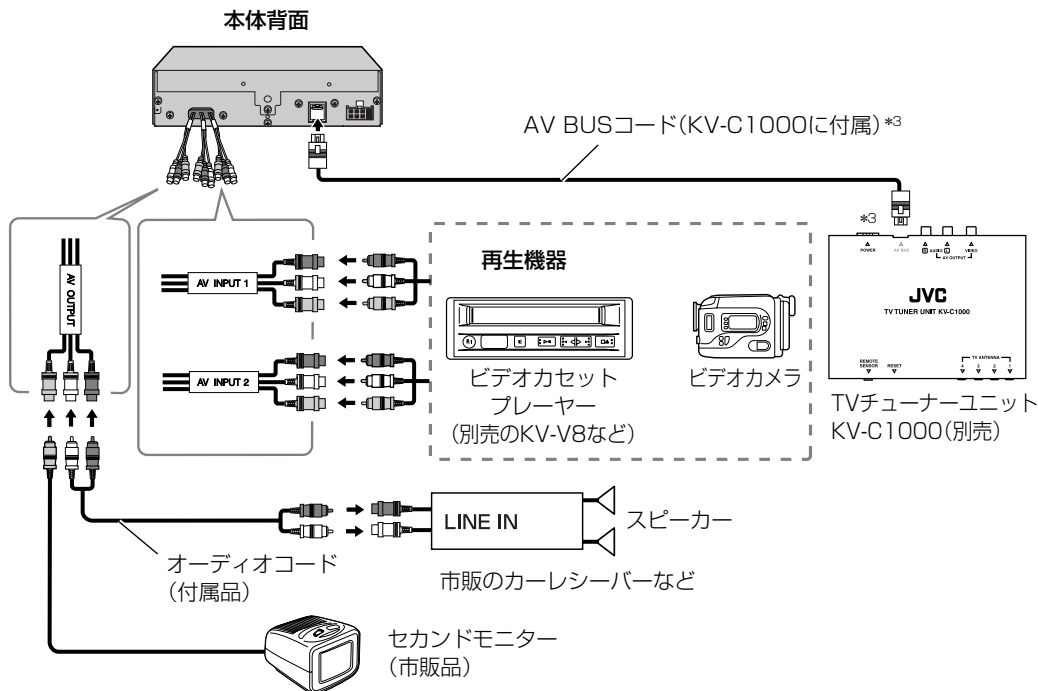


外部機器を接続する

本機には2系統の入力端子と1系統の出力端子があります。AV INPUT 1端子とAV INPUT 2端子を使って再生機器を2台まで接続することができます。AV OUTPUT端子には市販のカーレシーバーや別のモニター(セカンドモニター)を接続することができます。

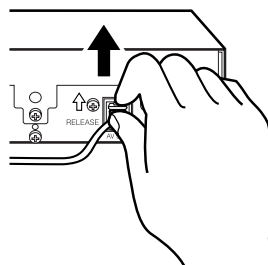
本機に別売のTVチューナーユニットKV-C1000を接続してご使用の場合は、本機のAV BUS端子とKV-C1000のAV BUS端子を、AV BUSコードで接続します。

- AV INPUT 1端子とAV INPUT 2端子を外部機器のLINE OUT端子やSUBWOOFER端子に接続しないでください。



- *3 AV BUSコードを使用して本機とTVチューナーユニットKV-C1000を接続する場合は、TVチューナーユニットKV-C1000の電源コードは使用しないでください。

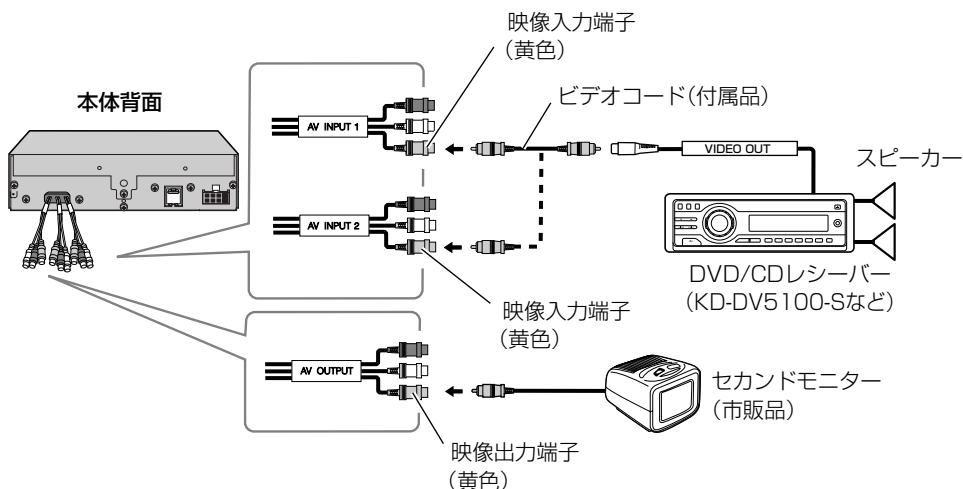
本機からAV BUSコードを外すときは、本体背面の^{リリース}RELEASEツマミを上[↑]にあげながら、コードを抜いてください。



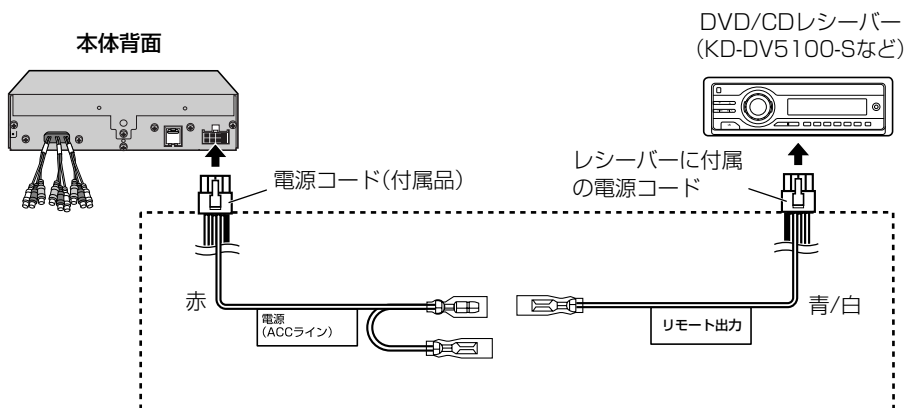
接続のしかた(つづき)

DVD/CDレシーバーの映像出力端子を本機のAV INPUT 1端子またはAV INPUT 2端子の映像入力端子に接続すると、DVD/CDレシーバーの再生映像をモニターで見ることができます。

• 音声はDVD/CDレシーバーに接続したスピーカーから聞こえます。



本機の電源(ACCライン)コードとレシーバーのリモート出力コードを接続すると、レシーバーの電源の「入/切」に連動させて本機の電源を「入/切」できます。



安全上のご注意

—はじめにお読みください。—

警告

本機はDC12Vマイナスアース車専用です。



- 大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車で使用しないでください。火災・故障の原因となります。

配線作業中は、バッテリーの^{マイナス}端子のコードを外す。



- ショート事故による感電やけが、火災の原因となります。

電源リード線の被覆を切って、他の機器の電源コードを接続することは絶対にしない。



- リード線の電流容量をオーバーし、火災・感電の原因となります。

本機を、前方の視界を妨げる場所やステアリング、シフトレバー、ブレーキペダル等の運転操作を妨げるなど運転に支障をきたす場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けない。



- 交通事故やけがの原因となります。

車体に穴を開けて取り付ける場合は、パイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認の上、これらと干渉や接触することがないように注意して行う。また、加工部のサビ止めや浸水防止の処置を施す。



- 交通事故や火災の原因となります。

取り付けやアース線を接続する場合は、ステアリング、ブレーキ系統、またはタンクなどの保安部品のビスは絶対に使用しない。



- これらを使用しますと制動不能や発火・事故の原因となります。

エアバッグのカバー部分や作動の妨げになる場所に、絶対に取り付けない。



- エアバッグが正常に動作しなかったり、動作したエアバッグで本機や部品が飛ばされ、事故やけがの原因となります。

注意

本機取り付けや取り外し・配線には、専門技術と経験が必要です。



- 安全のため必ずお買い上げの販売店に依頼してください。
- 場合によっては、本機が熱くなっていることがありますので火傷やけがに十分ご注意ください。

必ず付属の部品を指定通り使用する。



- 指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品をいためたり、しっかりと固定できず外れたりして事故やけがの原因となることがあります。

雨が吹き込むところなど、水のかかるところや湿気やほこりの多いところへの取り付けは避ける。



- 本機に水や湿気、ほこりが混入しますと発煙や発火・故障の原因となることがあります。

本機を不安定なところに取り付けない。



- 正しい設置を行わないと、事故や故障の原因となることがあります。

振動の多いところなど、しっかり固定できないところへの取り付けは避ける。



- 外れて事故やけがの原因となることがあります。

正規の接続を行わないと、火災や事故の原因となることがあります。



- 接続が終わったら車のブレーキランプ、ホーンなどが正しく動作することを確認してください。

車体やねじ部分、シートレール等の可動部に配線をはさみ込まないように注意する。



- 断線やショートにより、事故・感電・火災・故障の原因となることがあります。

JVC

日本ビクター株式会社

AV&マルチメディアカンパニー

〒221-8528 横浜市神奈川区守屋町3-12